



学年末テストを終えて、苦手や抜け・漏れに対応しよう の巻

テストお疲れさまでした。インフルエンザの流行で1週間の日程変更があった分、しっかり対策ができたのでは。……いやいや、普通はこういうことは無いので、ちゃんと早くから対策しておくべきなんですよ!? とはいえ、普段対策が遅れていた人は、「時間が取ればこれだけできる」ということがわかったはず。ぜひ次回は勉強スケジュールの前倒しを!!

Check!

01

苦手なものにも取り組み、いろいろな能力を伸ばす努力をしよう



自宅学習日が増えるこの時期、苦手教科や苦手分野がある人は、ここで手を引くのではなく、この2月から思い切って再度復習・強化に取り組んでほしいと思います。なぜなら、①苦手だからと捨ててしまうにはまだまだ早いですし、②苦手なことに取り組んで克服の仕方を学ぶこと自体がとても大切だからです。

20日の学習進路講演会で、「バランスが大切」という話がありました。生成AIに使われるのではなく生成AIをアシスタントとして使いこなしていくためには、「知識をいかに活用するか、確からしさを判断できるか」という頭の力と、「倫理感に基づいて判断したり、他者に相談したりできる」心の力が求められます。AIの出力を判断して活用するのは私たちで、それに責任をもつのも私たち自身なのです。そしてもちろん長く健康に過ごしていくために、体力や筋力も大事。頭も心も身体もそれぞれバランスが大事。そして、バランスを保つには、好きな物や得意な物だけに没入して能力を偏らせるのではなくて、苦手なものにも取り組んで克服しようとする努力や経験を積んでおくことが大切、というお話でした。

そういえば、昔読んだエッセイ漫画に、こんなシーンがありました。小さいころからとても運動が嫌いかつ苦手で、運動から逃げまくってきた漫画家さんが、「小さいころから筋肉を使わずこんなに大切にしてきたのに、どうしてこんなに筋力がないのだろう」とぼやくのです(セリフは不正確ですが)。みなさん、こんなセリフを聞いたらもちろん突っ込みますよね。「筋肉は使わないでいたら弱るに決まってるだろー!」って。

頭についても、心についても同じことが言えるでしょう。苦手なことから逃げるよりも、果敢に取り組んで失敗を積み重ねておいて、「どうしたらリカバリーできるか」「どうすればプラスの結果を出せるのか」とあれこれ考えたり体験したりしておくことが、その後、似た状況下で乗り越えられる素地を作ります。そして、何よりみなさんを豊かな人間にしてくれるのです。勉強も部活も習い事も、人間関係なども、いま悩んでいる人にとっては、もちろん苦しい時間でしょう。でも、悩んで努力したことは必ず糧になります。乗り越えるために、いろいろな手段を考えて、実行していきましょう。

Check!

02

今年度のテストを解き直して、苦手を分析し、対策を立てて練習しよう

ということで、今日からやってほしいことが一つ。今年度のテストを全部解き直してみましよう! メリットはこんなに!

- (1) 当時はできなかったものが結構できるようになっていて、自分の成長がわかる!
- (2) まだ理解できていない・解けるようになっていないところを発見できるので、春までに対策できる!
- (3) 対策できれば、積み残しがなくなって、これから学習するところも理解しやすくなる!



優先度は定期テスト(≒章末テスト) > 新教研テスト ≒ 学力推移調査。そして、苦手な部分を分析し、対策を立て、練習をしていきましょう。学習進路講演会で、「短い期間で鍛えたものはすぐに弱る、長い時間鍛え続けたものは長く使える」とも言われていました。一夜漬けで詰め込んだ知識ややり方は、すぐに忘れてしまうもの。苦手なことでも、何度も正しいやり方を繰り返すことで強化されます。努力を毎日続けていくこと自体が、あなたをより強くしてくれますよ。

「小さいことを重ねることが、とんでもないところに行くただひとつの道」(イチロー／元プロ野球選手)



学年末テストを終えて、苦手や抜け・漏れに対応しよう の巻

テストお疲れさまでした。インフルエンザの流行で1週間の日程変更があった分、しっかり対策ができたのでは……いやいや、普通はこういうことは無いので、ちゃんと早くから対策しておくべきなんですからね！？

とはいえ、普段対策が遅れていた人は、この1週間をうまく使えたのなら、「時間が取ればこれだけできる」ということはきっとわかったはず。次回はぜひ勉強スケジュールの前倒しを！！

Check!
01

苦手なものにも取り組み、いろいろな能力を伸ばす努力をしよう



自宅学習日が増えるこの時期、苦手教科や苦手分野がある人は、ここで手を引くのではなく、この2月から思い切って再度復習・強化に取り組んでほしいと思います。なぜなら、①**苦手だからと捨ててしまう**にはまだまだ早いですし、②**苦手なことに取り組んで克服の仕方を学ぶこと自体がとても大切**だからです。

20日の学習進路講演会で、「バランスが大切」という話がありました。生成AIに使われるのではなく生成AIをアシスタントとして使いこなしていくためには、「知識をいかに活用するか、確からしさを判断できるか」という頭の力と、「倫理感に基づいて判断したり、他者に相談したりできる」心の力が求められます。**AIの出力を判断して活用するのは私たちで、それに責任をもつのも私たち自身**なのですから。そしてもちろん長く健康に過ごしていくために、体力や筋力も大事。頭も心も身体もそれぞれバランスが大事。そして、バランスを保つには、**好きな物や得意な物だけに没入して能力を偏らせるのではなくて、苦手なものにも取り組んで克服しようとする努力や経験を積んでおくことが大切**、というお話でした。

そういえば、昔読んだエッセイ漫画に、こんなシーンがありました。小さいころからとても運動が嫌いかつ苦手で、運動から逃げまくってきた漫画家さんが、「小さいころから筋肉を使わずこんなに大切にしてきたのに、どうしてこんなに筋力がないのだろう」とぼやくのです(セリフは不正確ですが)。みなさん、こんなセリフを聞いたらもちろん突っ込みますよね。「筋肉は使わないでいたら弱るに決まってるだろー！」って。

脳についても、心についても同じことが言えるでしょう。**苦手なことから逃げるよりも、果敢に取り組んで失敗を積み重ねておいて、「どうしたらリカバリーできるか」「どうすればプラスの結果を出せるのか」とあれこれ考えたり体験したりしておくことが、その後、似た状況下で乗り越えられる素地を作ります。そして、何よりみなさんを豊かな人間にしてくれるのです。**勉強も部活も習い事も、友達との関係なども。いま悩んでいる人にとっては、もちろん苦しい時間でしょう。でも、悩んで努力したことは必ず糧になります。乗り越えるために、いろいろな手段を考えて、実行していきましょう。

Check!
02

今年度のテストを解き直して、苦手を分析し、対策を立てて練習しよう

ということで、今日からやってほしいことが一つ。昨年度もおすすめしましたが、今年度のテストを全部解き直してみよう！ 優先度は**定期テスト(≒章末テスト)** > **新教研テスト** ≒ **学力推移調査**。出来るようになった部分は自分をほめまくり、一方で残ってしまった苦手な部分についてはしっかりと分析し、対策を立て、練習をしていきましょう。

学習進路講演会で、「**短い期間で鍛えたものはすぐに弱る、長い時間鍛え続けたものは長く使える**」とも言われていました。一夜漬けで詰め込んだ知識ややり方は、すぐに忘れてしまうもの。苦手分野でも、**何度も知識に触れ、正しい解き方の道筋を何度もたどっていれば、身についてくる**のです。努力を毎日続けていくこと自体が、あなたをより強くしてくれますよ。



「小さいことを重ねることが、とんでもないところに行くただひとつの道」(イチロー/元プロ野球選手)



学年末テストを終えて、苦手や抜け・漏れに対応しよう の巻

学年末テスト&新教研テストお疲れさまでした。学年末テストは、インフルエンザの流行で1週間の日程変更があった分、しっかり対策ができて、有終の美を飾れた……でしょうか？ 新教研テストは入試予想問題ということで、中学校で学習した全範囲からの出題でした。前より出来るようになったところに気づけましたか。あるいは、抜け漏れに気づけましたか。

Check!
01

苦手なものにも取り組み、いろいろな能力を伸ばす努力をしよう



自宅学習日が増えるこの時期、苦手教科や苦手分野がある人は、ここで手を引くのではなく、この2月から思い切って再度復習・強化に取り組んでほしいと思います。なぜなら、①苦手だからと捨ててしまうにはまだまだ早いですし、②苦手なことに取り組んで克服の仕方を学ぶこと自体がとても大切だからです。

19日の学習進路講演会で、「バランスが大切」という話がありました。生成AIに使われるのではなく生成AIをアシスタントとして使いこなしていくためには、「知識をいかに活用するか、確からしさを判断できるか」という頭の力と、「倫理感に基づいて判断したり、他者に相談したりできる」心の力が求められます。AIの力を判断して活用するのは私たちで、それに責任をもつのも私たち自身なので。そしてもちろん長く健康に過ごしていくために、体力や筋力も大事。頭も心も身体もそれぞれバランスが大事。そして、バランスを保つには、好きな物や得意なものだけに没入して能力を偏らせるのではなくて、苦手なものにも取り組んで克服しようとする努力や経験を積んでおくことが大切、というお話でした。

そういえば、昔読んだエッセイ漫画に、こんなシーンがありました。小さいころからとても運動が嫌いかつ苦手で、運動から逃げまくってきた漫画家さんが、「小さいころから筋肉を使わずこんなに大切にしてきたのに、どうしてこんなに筋力がないのだろう」とぼやくのです(セリフは不正確ですが)。みなさん、こんなセリフを聞いたらもちろん突っ込みますよね。「筋肉は使わないでいたら弱るに決まってるだろー！」って。

脳についても、心についても同じことが言えるでしょう。苦手なことから逃げるよりも、果敢に取り組んで失敗を積み重ねておいて、「どうしたらリカバリーできるか」「どうすればプラスの結果を出せるのか」とあれこれ考えたり体験したりしておくことが、その後、似た状況下で乗り越えられる素地を作ります。そして、何よりみなさんを豊かな人間にしてくれるのです。勉強も部活も習い事も、友達との関係なども。いま悩んでいる人にとっては、もちろん苦しい時間でしょう。でも、悩んで努力したことは必ず糧になります。乗り越えるために、いろいろな手段を考えて、実行していきましょう。

Check!
02

今年度のテストを解き直して、苦手を分析し、対策を立てて練習しよう

ということで、今日からやってほしいことが一つ。昨年度もおすすめしましたが、今年度のテストを全部解き直してみよう！ 優先度は定期テスト(≒章末テスト) > 新教研テスト ≒ 学力推移調査。出来るようになった部分は自分をほめまくり、一方で残ってしまった苦手な部分についてはしっかりと分析し、対策を立て、練習をしていきましょう。

学習進路講演会で、「短い期間で鍛えたものはすぐに弱る、長い時間鍛え続けたものは長く使える」とも言われていました。一夜漬けで詰め込んだ知識ややり方は、すぐに忘れてしまうもの。大事なものは、何度も使うことで強化されます。苦手分野も、何度も知識に触れ、正しい解き方の道筋を何度もたどっていれば、身についてくるのです。努力を毎日続けていくこと自体が、あなたをより強くしてくれますよ。



「小さいことを重ねることが、とんでもないところに行くただひとつの道」(イチロー／元プロ野球選手)